

私たちが生活する舞台は町や村である。町の中を歩き回り、町から町へと移動しながら暮らす。

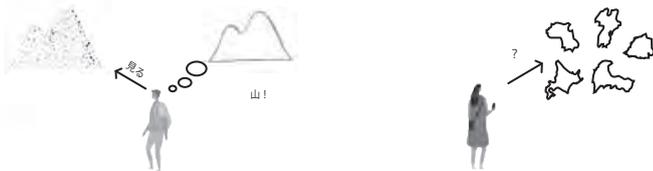
俯瞰的な視点で、法令や数値で線引きされつくられた町や村が世の中にはたくさんある。それらは町として、名前のもとではひとまとまりだと思えるけれど、実際にそこを歩いて、地図上で示されたその町の形というものが見つからない。ここでは、町や村がどのようにしてまとまりを持つのかということを考える。

0. かたちを捉えるということ

線ではなく粒の集合として風景を捉えてみる。

みえているものに名前を当てはめるのではなく、色の粒として捉えるとき、山、森、木、草、川、湖、風景のすべては連続したものだ。そこに輪郭はなく、あるのは密度や色の差異である。それでも私たちは風景を風景として捉えることができる。

これは、風景に限った話ではなく、私たちがみるもののかたちというものは、線で囲ってできるのではなく、何かと何かの繋がりが集積してできている。



これは視覚による知覚の話。目に見えているものを、どのようにして知覚しているかについてである。

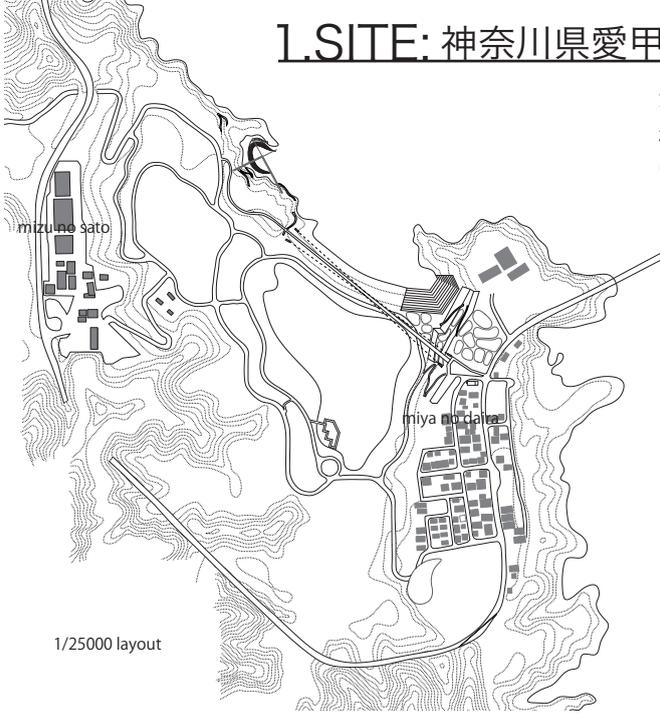
では、大きなものはどうだろう。地図に載っているある村のかたちや、国のかたちは、なかなか自分の目では捉えられない。しかも、地図上に引かれた線の形を知ったとしても、それはその村に暮らす人や訪れる人にとっては、村を経験することにはならない。

その村にいる人にとって重要な、村のかたちを考える。

1.SITE: 神奈川県愛甲郡清川村宮ヶ瀬地区

湖のほとりにある村。

横浜市の水がめとなる宮ヶ瀬ダムを建設する際にダム湖の底に沈んだ旧宮ヶ瀬村の代替地である。



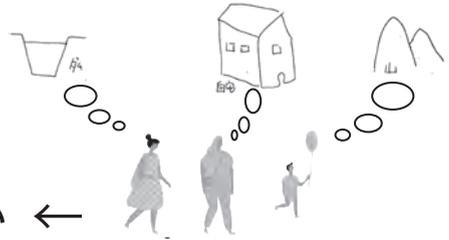
1975 空中写真



2003 空中写真

かつての村が湖底に沈み、ダム湖のほとりに新しく土地ができた。

人と人、人と自然は近い距離にあるにも関わらず、それぞれ関わりを持たずにバラバラに存在している。



村のかたちがない ←

2.CONCEPT

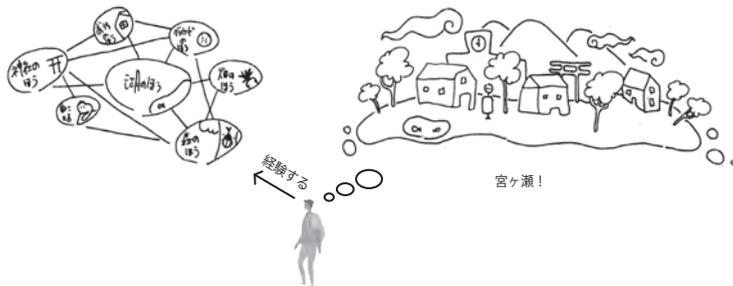
『〇〇の方』をつくる

地図なんて読めないような小さな頃、私たちはどのように自分の住む場所を捉えていただろう。

〇〇ちゃんの家の方、この川のふちをまっすぐ行くとおばあちゃんの畑の方、裏口から出るとお墓の方、お地藏さんがいる山の入り口、といったように、親しい人やその特徴で場所を捉えていなかったか。

このような捉え方が無数に結びついてる場所が、人の暮らす村であると考えよう。

地図上の形ではなく、頭の中で繋がりを持つイメージの集積が、村のかたちである。



本設計では、村のかたちをつくるために、森の方、湖の方、畑の方をつくる。

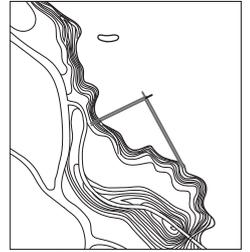
住民も観光客も、誰にとっても、村をイメージするときに思い出し、風景が繋がるきっかけとなる場所として。

季節による湖面水位の変化で広場が現れる。

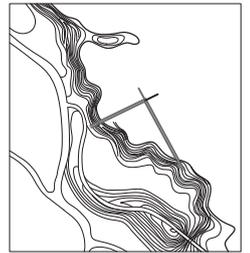
湖の方

湖面に栈橋の柱が落ちる。
ある時、離れ小島と陸が繋がる。
ある季節、小さな広場が現われる。
水面の上下で居場所が変化する。

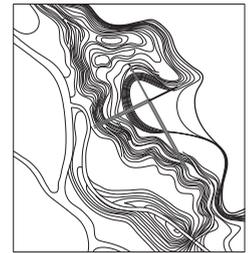
diagram:



常時満水時 286m

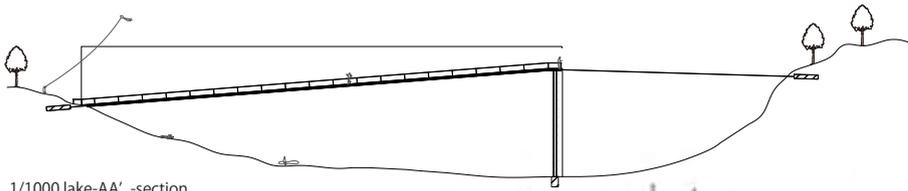


2020年1月のある日の
水位 283m

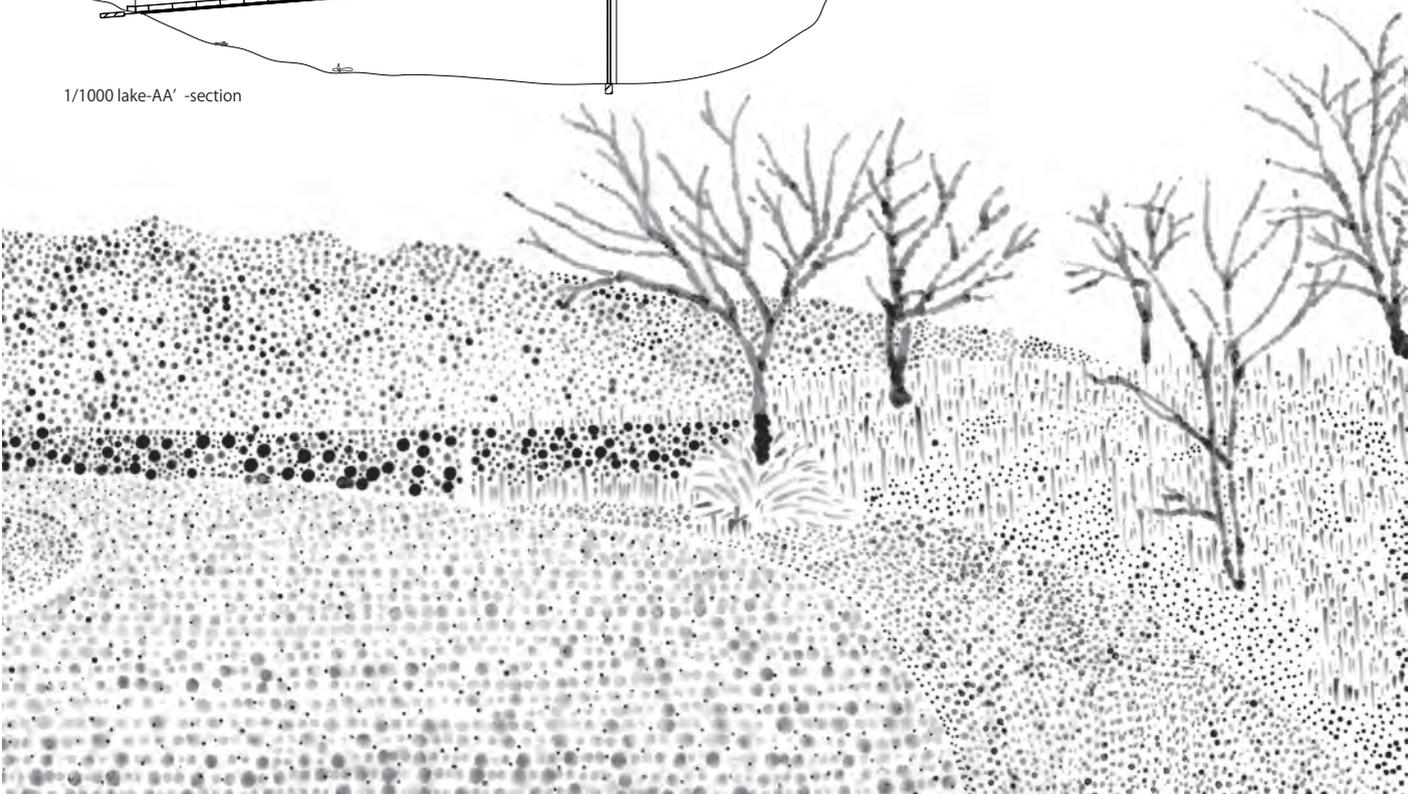


夏季水位 273m

1/2000 lake-plan

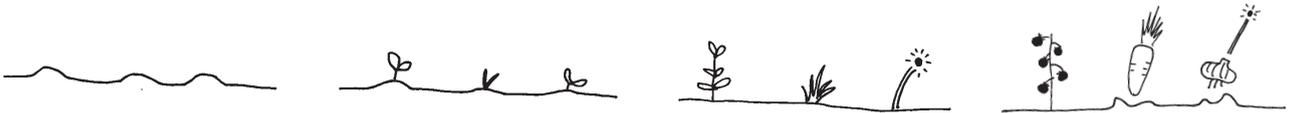
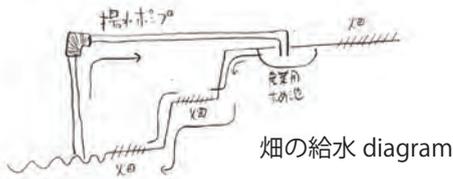


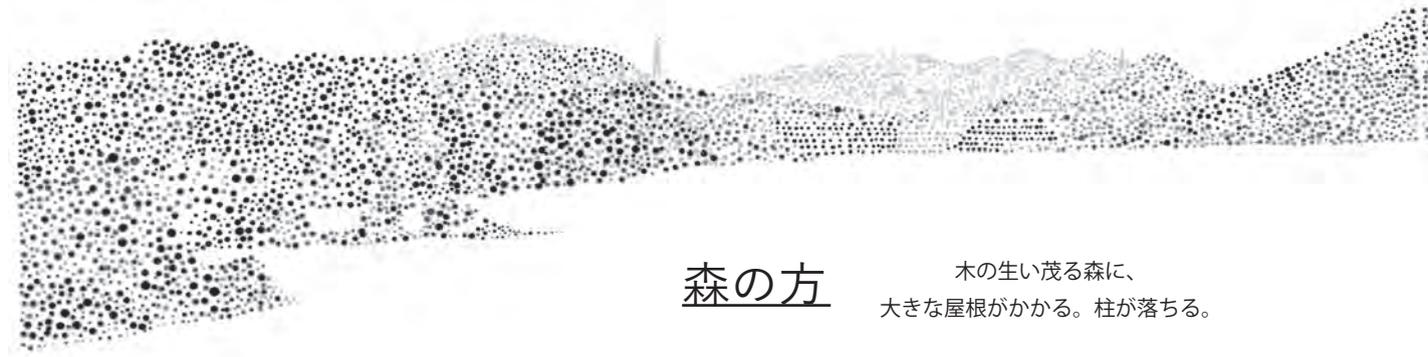
1/1000 lake-AA' -section



畑の方

湖の水を利用する、集まった畑。
小学校や地域の住民の畑や町からくる人の休日農園となる。
作物の成長を見守る農具小屋が、
それぞれ好きな方向で風景に向かって建つ。





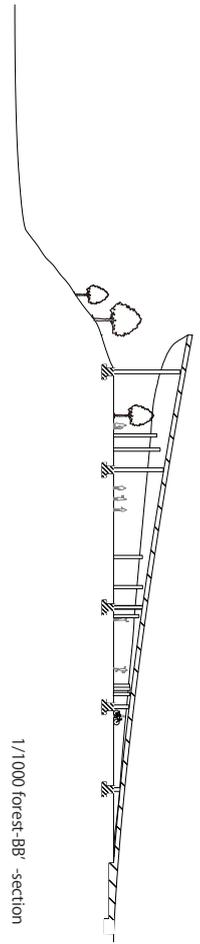
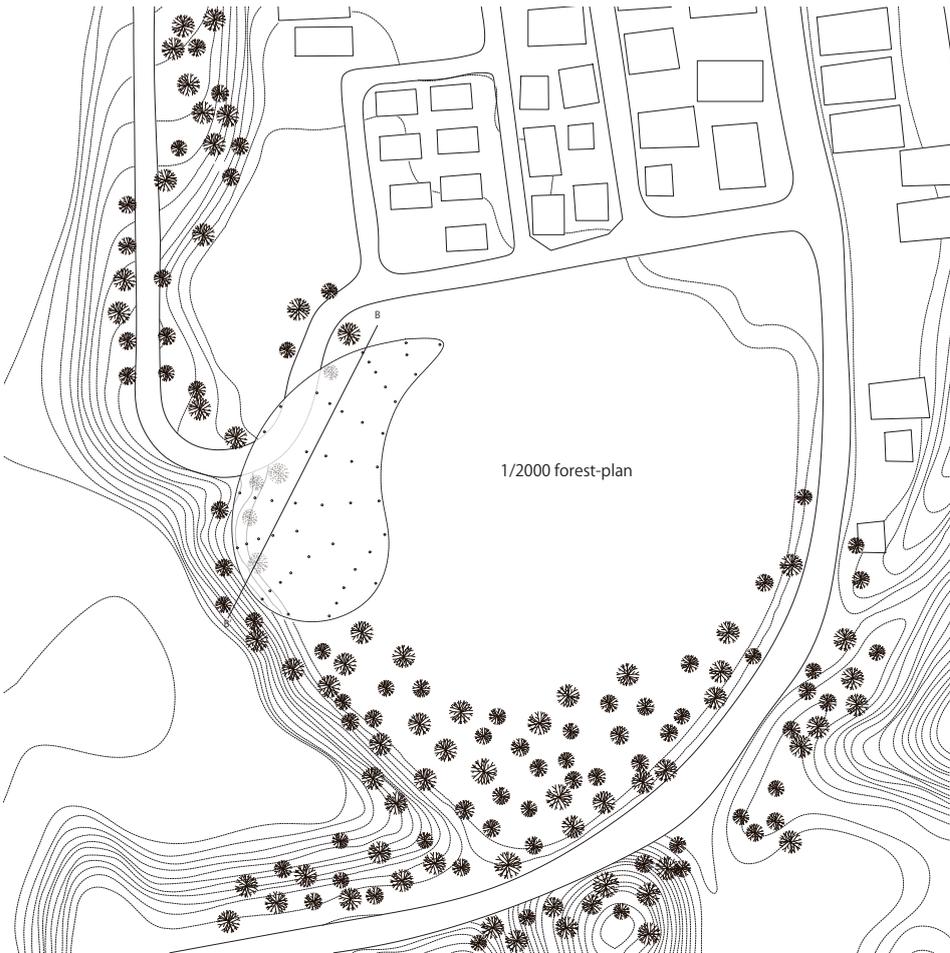
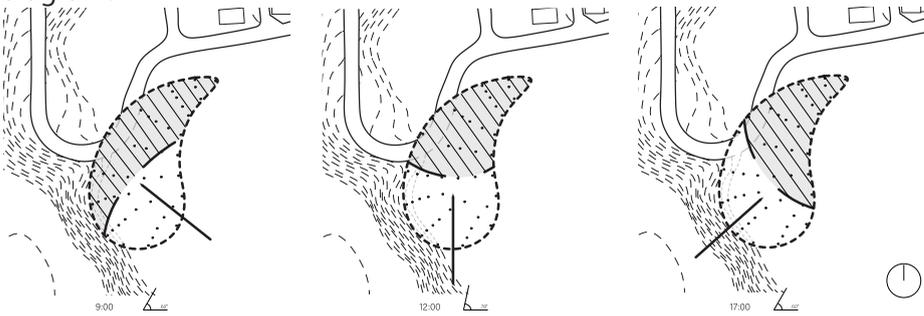
森の方

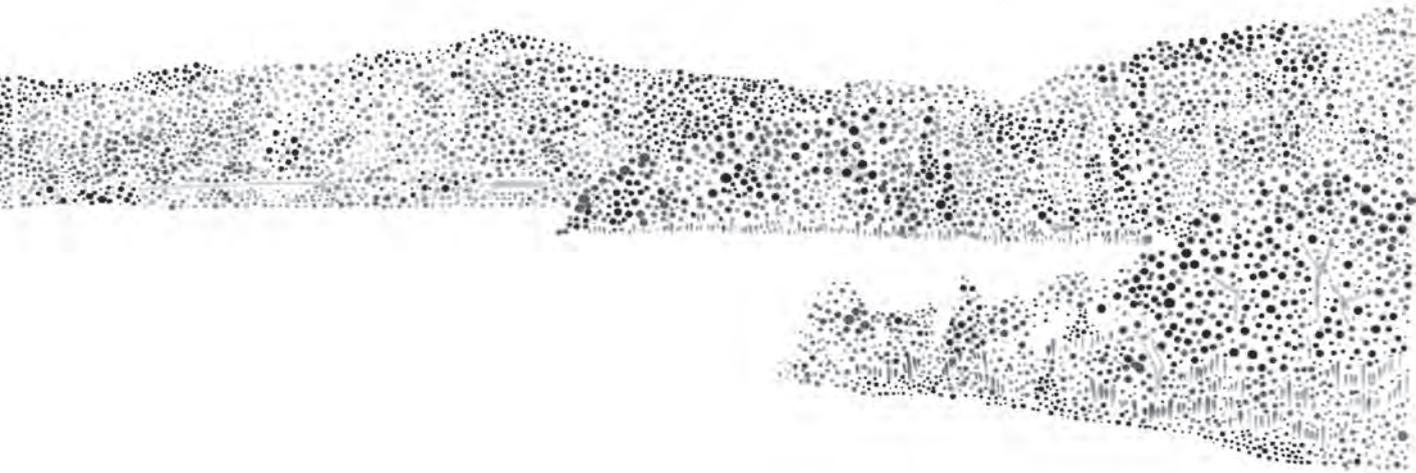
木の生い茂る森に、
大きな屋根がかかる。柱が落ちる。

影のでき方でなんとなく、時間の経過を感じるかもしれない。

時間によって、季節によって、入る光の量や位置が変化する。

diagram:





-参考文献-

誰もがいつも見ていながら言葉にしなかったことがある。

20世紀半ば、一人の研究者がそれに気が付いた。

周囲に肌理がある、ということである。

周囲のどの表面にも細かな粒が満ちていて、それが秩序、つまり肌理をなしている。

人に近づけば皮膚が見え、遠ざかれば顔が見える。山に近づけば木肌が見え、遠ざかれば森が見える。

皮膚も、顔も、人も、木肌も、森も、山も、肌理である。

『視覚世界の知覚』(J・J・Gibson(1950)),『レイアウトの法則-アートとアフォーダンス』(佐々木正人(2003))より



drawing-color ver. architectural model photos.

<https://diploma-m-sonoka.tumblr.com>

かめちゃん、まほちゃん、りな、たろう、もぎくん、せいかちゃん、まゆちゃん、ゆうとくん、ちえみ、
りんこ、じゅんき、くりはらさん、くめさん、しゅんさん、4年生のみんな、本当にどうもありがとう。
みんなが困ったときは、私が助けに行きます。